

# 水辺のふるさと かつしか 秋号

2019.6-8

自然環境レポーター(通)信



写真のタイトル：シマトネリコ

撮影場所：亀有アリオ駐輪場

写真提供：高柳 みどりさん

## 目次

- 1 55種の動植物調査結果 .....P 2  
調査協力：石鍋さん、K. Nさん、藤並さん、田村さん、高柳さん、  
Rさん、荒井さん、鷺田さん、森本さん、高橋さん、新井さん
- 2 秋号イチオシの生きもの!.....P 3
- 3 自由レポート .....P 4～16
- 4 季節の写真集 .....P 17～19
- 5 魚からの便り .....P 20～23
- 6 環境課からのお知らせ .....P 24～26

### 編集担当のひとこと



秋と言えば、食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋・・・

春夏秋冬関係なく、食べること、呑むことが大好きな丸山です。

今年の夏は、前半涼しくてセミの鳴き声もあまり聞こえませんでした。後半は、とても暑い夏でした。

9月1日に上千葉公園にて昆虫標本作りのための昆虫採集をしました。虫網を持って一生懸命トンボやチョウチョを追いかける子ども達・・・子供が諦めると親の出番です。昔のようにはいきませんが、走り回っている姿は、まるで子供に戻ったようでした。思い切り走った結果、沢山の昆虫が捕まえられました。

今年は気温の低い日が続いたせいか、カンタンの生育が良くなく、なかなか成虫が見られませんでした。この日に捕まえた子を発見！！区内にあるカンタンの里にもたくさん住みついてくれるといいなと思いました。

日も短くなり、秋の風を感じる季節になりました。皆さんも、虫の声を聴きにお散歩に出るのもいいかもしれませんね。



\* \* \* 丸山 \* \* \*

# 55種の動植物 調査結果(6月~8月)

## 【調査区2】 計28種

- <鳥類> ツバメ、コサギ、シジュウカラ
- <昆虫> アキアカネ、オオカマキリ、カンタン、トノサマバッタ、クマゼミ、アブラゼミ、  
ツクツクボウシ、ミンミンゼミ、ニイニイゼミ、クロアゲハ、ナミアゲハ、  
アカボシゴマダラ
- <植物> アカメガシワ、スギナ、ナガミヒナゲシ、シロツメクサ、スズメノエンドウ、  
アレチウリ、オオバコ、カントウタンポポ、ツユクサ、ジュズダマ、ススキ
- <爬虫類> シシッピアカミミガメ、
- <底生動物> ベンケイガニ

## 【調査区3】 計27種

- <鳥類> コアジサシ、ツバメ、  
コサギ、シジュウカラ
- <昆虫> エンマコオロギ、カンタン、  
クマゼミ、アブラゼミ、  
ツクツクボウシ、ミンミンゼミ、  
ニイニイゼミ、クロアゲハ、  
ナミアゲハ、ツマグロヒョウモン
- <植物> アカメガシワ、スギナ、  
ナガミヒナゲシ、シロツメクサ、  
イモカタバミ、アレチウリ、セリ、  
カントウヨメナ、ツユクサ、  
ジュズダマ
- <爬虫類> ミシシッピアカミミガメ、  
ウシガエル
- <クモ類> ジョロウグモ

## 【調査区1】 計14種

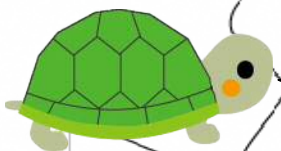
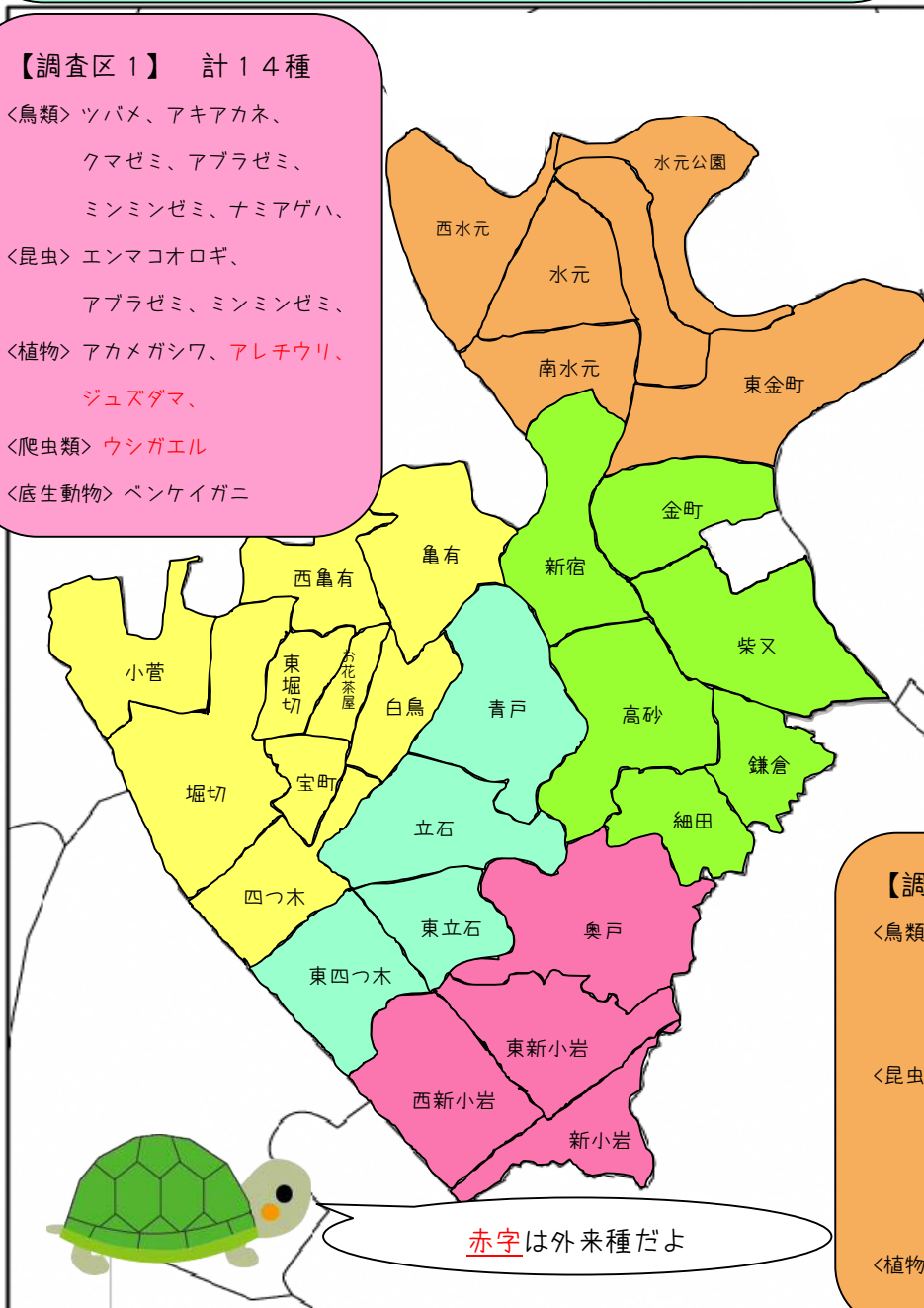
- <鳥類> ツバメ、アキアカネ、  
クマゼミ、アブラゼミ、  
ミンミンゼミ、ナミアゲハ、
- <昆虫> エンマコオロギ、  
アブラゼミ、ミンミンゼミ、
- <植物> アカメガシワ、アレチウリ、  
ジュズダマ、
- <爬虫類> ウシガエル
- <底生動物> ベンケイガニ

## 【調査区4】 計10種

- <鳥類> ツバメ、シジュウカラ、  
エンマコオロギ、アブラゼミ、  
ミンミンゼミ
- <植物> アカメガシワ、シロツメクサ、
- <爬虫類> ミシシッピアカミミガメ、  
ニホンカナヘビ
- <底生動物> ベンケイガニ

## 【調査区5】 計19種

- <鳥類> コアジサシ、ツバメ、オオヨシキリ、  
コガモ、コサギ、カワセミ、コゲラ、  
シジュウカラ
- <昆虫> クマゼミ、アブラゼミ、ツクツクボウシ、  
ミンミンゼミ、ニイニイゼミ、  
クロアゲハ、ナミアゲハ、  
ツマグロヒョウモン、アカボシゴマダラ
- <植物> アカメガシワ、シロツメクサ、



赤字は外来種だよ

レポートが見つけた

# 秋号イテオシの生きもの！

## オオスカシバ

オオスカシバ（大透翅、学名：Cephonodes hylas）は、チョウ目スズメガ科の昆虫。ガの一種。和名のとおり、翅が透明なガで、夏の日中によく活動する。スカシバという名がついているが、スカシバガの仲間ではない。

成虫の前翅長は3cmほど。体の背中側は黄緑色で、腹側は白い。腹部の中ほどに赤い横帯模様があり、その前後に黒い帯模様もある。また、腹部先端の左右には黒い毛の束がある。

和名のとおり翅は透明で、鱗粉がなく、黒い翅脈が走るのが大きな特徴である。羽化した直後には灰白色の鱗粉が翅をおおっているが、羽ばたくと鱗粉がすぐに脱落し、透明な翅になってしまう。

Wikipedia より引用



上記の写真は、8/19にRさんがお花茶屋で撮影されたオオスカシバです。漢字で書くと「大透翅」、本当に翅が透き通っていて、ガの一種とは思えませんね。花の蜜を吸うそうです。

自然観察レポート  
R元6・7・8月の巻  
調査区5 佐々木定治

♪ 夏が来れば思い出す ♪



6月14日 タチアオイ 水元2丁目



6月12日 カナヘビ



7月1日 ハンゲショウ



キスゲ 水元3丁目



7月25日 ホウズキ

⇔水元3丁目



カマキリ

今年の夏は予告なしに、ある日突然にやって来たような感じがしました。それまで梅雨が長引き雨と湿気を運び、日照時間も短かったのです。私の家庭菜園としての数株の野菜にも、その生育に如実な打撃を受けました。そんな中でもタチアオイやハンゲショウやキスゲは美しく、ホオズキにかかる雨しずくの柔和な表情に感動！カマキリの動きに目を凝らしました。 私にとっては植物も昆虫も今と昔との夏の思い出と繋ぐ大切な自然環境です。

# ほら！令和元年の夏の音が聞こえます！



7月3日 アブラゼミ 水元3丁目



8月1日 コガネムシ水元3丁目⇄アゲハ



8月20日 カマキリ ↑  
8月30日 ススキ ←水元3丁目



8月29日 ミソハギ 水元3丁目

ある日突然の夏の到来と共にやってきた猛暑というよりも酷暑に、体調管理をするのに大変な日々が続きました。6月から7月いっぱいの不順な天候の中でも、季節は進み急遽8月には、まるで大きな音を発するときの夏との出会いです。

聞き様によっては、夏を謳歌するセミの泣き方。緑の光沢を見せてくれたコガネムシや、エコトーンを巧みに活用しその羽を優雅に羽ばたかせるアゲハ。カマキリのまるで何かを懇願しているような足と頭の動き。

ミソハギを少しだけ旧盆にお供えしました。その後も次から次へと花をつけ、8月の終わりになっても夏を満喫していました。そして、ススキも豊かな穂に成長しました。確かに季節は動いています。人はこの地球の懐に抱かれ、たくさんの恩恵を受けて日々の暮らしを営んでいるのですが、ついそのことを忘れてしまうことがある自分を発見することがあります。「忙しい」という字は「心を亡くす」という意味でもあります。忙しさに心を亡くすことのないように、自然に語りかけ新たな自分発見ができるように、これからも自然観察を継続していきたいと考えています。



氏名：藤並 剛 町名：亀有 調査区：3

6月2日(日)午前10時頃、天気は曇り(風なし)、気温21度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、スズメ、オナガ(4)、シジュウカラ(4)を見つけた。昆虫は、モンシロチョウ(1)を見つけた。植物は、ツツジ、サツキ、アジサイ、カナメモチの花が咲いていた。ヨウシュヤマゴボウの花(1)、イヌムギ、スギナ、スズメノカタビラ、ノグシ、チガヤ、カタバミ、ムラサキカタバミ、イモカタバミ、ドクダミ、セイヨウタンポポ(1)、コヒルガオ、ヒメジョオンを見つけた。

6月29日(土)午後4時頃、天気は小雨(風なし)、気温23度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、スズメ、ムクドリを見つけた。植物は、コヒルガオ(2)、ヤブガラシ、カタバミ、スギナ、ドクダミ、ヘクソカズラを見つけた。

今朝(30日)、東京は朝から雨が降り、蒸し暑さを感じる。一昨日(28日)は、台風3号が関東地方に接近し、上陸しなかったため、小学校も通常登校となった。同日、大阪で20ヶ国・地域(G20)首脳会議(サミット)が開催された。翌日(29日)、G20サミットで「環境・エネルギー」会合が持たれた。産経新聞(6月30日)によると、「2050年までにプラスチックごみの海への流出をゼロにする『大阪ブルー・オーシャン・ビジョン』を共有し、G20以外の国にも取り組みを拡大させると明記」と書かれていた。また、「G20大阪サミット参加国首脳の配偶者らは29日、大阪府庁で海洋環境の保全に関するシンポジウムなどに参加した。サミットの重要テーマとなったプラスチックごみの流出について学生らの発表を聞き、意見を交わした」とあった。

6月は、環境・食育の推進月であり、私も様々なイベントに参加したり、見学したりした。1日(土)は、あだち地球環境フェア2019(足立区主催)を見学した。9日(日)は、かつしか環境・緑化フェア2019(葛飾区主催)を見学した。23日(日)は、NPO法人持続可能な開発のための教育推進会議(ESD-J)の総会・研修・懇親会に参加した。今日は、NPO法人食生態学実践フォーラムの研修会に参加した。「ごはんしっかり!ぴったり食事づくり」をテーマの研修会だった。《食事、生きる力、環境はつながっている》《バランスのよい食事—主食・主菜・副菜の組み合わせ》《3・1・2弁当箱法》について学ぶことができた。どこの会場も大勢の区民が参加し、事業者とともに環境を改善のための取り組みをしていることが分かった。立場の違いはあるが、未来・子どもたちのために大人の努力が大切である。(6月30日)

7月15日(月、祝)午前11時頃、天気は曇り(風なし)、気温22度くら

い。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、スズメ、ムクドリを見つけた。虫は、ヤマトシジミ(2)、オカダンゴムシを見つけた。雨上がりなのか、ダンゴムシがぞろぞろと歩いている姿を見つけた。植物は、エノコログサ、ノゲシ、カタバミ、スギナ、イヌムギ、オシロイバナを見つけた。

7月21日(日)午前11時頃、天気は曇り(風なし)、気温25度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、スズメ、ムクドリを見つけた。昆虫は、アオスジアゲハ(1)、ヤマトシジミ(2)を見つけた。植物は、エノコログサ、メヒシバ、ヤブガラシ、セイヨウタンポポ(1)、イモカタバミ、カタバミ、オシロイバナを見つけた。

7月26日(金)午後6時頃、天気は晴れ(風あり)、気温は29度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。この日の東京都心の最高気温は、33.1度でした。植物は、オシロイバナ、イヌムギ、ヤブガラシ、ヘクソカズラ、カタバミ、エノコログサ、メヒシバを見つけた。昆虫は、ミンミンゼミ(2)、ニイゼミ、アオドウガネ(1)、オオスカシバ(1)を見つけた。野鳥は、スズメ、オナガ(3)を見つけた。

読売新聞7月21日(日)の朝刊総合面に、「持続可能性 社会の指針に」という題で、武藤敏郎氏(東京2020大会組織委員会事務総長)がSDGs(持続可能な開発目標)について書いていた。2020五輪・パラリンピック開催の意義についての記事だった。東京大会の「多様性と調和」のコンセプトと同じく重要なコンセプトは、「持続可能性」である。組織委員会は昨年、国連とSDGsに関する基本合意を締結し、いくつかのプログラムが進行中。第1は、金・銀・銅メダルを、使用済みの携帯電話や小型家電といった、いわゆる「都市鉱山」から取り出した原材料で制作する取り組みである。第二に、先月G20でも討議された、廃プラスチックによる海洋汚染問題の深刻化を踏まえ、破棄されるプラスチック容器を再利用して表彰台を作成する。第三に、選手村内の交流施設の建設資材に全国の自治体から提供される木材を活用する。大会後には解体した木材を自治体に返還して、公共施設などに再利用する。既に63自治体の参加が決定した。武藤氏は、「一連のプロジェクトは、持続可能な社会の実現を目指し、人々の意識向上とリサイクル、リユース、リデュースの3Rを促進する社会システムの構築をアピールする狙いがある。多くの企業が様々な形で持続可能性の向上に取り組んでいる。これが定着すれば大会の重要なレガシーとなろう」と書いていた。

また、産経新聞7月11日(木)の経済面で、『「持続可能」食で実現—五輪の調達基準 企業が注目』という記事があった。これも、SDGsの推進に向けた企業の取り組みであった。

7月は晴れ間が全くなく、最低気温が20度を割って、最高気温が25度を



超える夏日の日もあまりなかった。小・中学校が夏休みに入っても、気温が低く、3日ほど学校のプール入ることができず、児童の不満でいっぱいだった。しかし、台風が接近中の昨日(7/26)には、ミンミンゼミの初鳴きを聞き、梅雨明けが真近なことを感じた。児童と一緒に、これからはセミやバッタ、コオロギ捕りの日々となることだろう。(7月27日・台風6号が関東地方に接近中)

8月4日(日)午後4頃、天気は晴れ(風少し有)、気温は33度くらい。亀有5丁目の亀有公園・見性寺周辺。野鳥は、スズメを見つけた。昆虫は、アオスジアゲハ(1)、ヤマトシジミ(2)、ナミアゲハ(1)、ミンミンゼミ、ニイニイゼミ、アブラゼミを見つけた。植物は、オシロイバナ、エノコログサ、カタバミ、メヒシバを見つけた。

8月15日(木)午前10時頃、天気は晴れ(風あり)、気温は30度くらい。亀有5丁目の亀有公園・見性寺周辺。野鳥は、スズメ、ムクドリを見つけた。昆虫は、ミンミンゼミ、アブラゼミ、アオスジアゲハ(1)、ヤマトシジミ(2)を見つけた。植物は、エノコログサ、カタバミを見つけた。

8月24日(土)午後6時頃、天気は晴れ(風なし)、気温は27度くらい。亀有5丁目の亀有公園・見性寺周辺。昆虫は、アブラゼミ、カネタタキ、ツクツクボウシ(1)を見つけた。植物は、オシロイバナを見つけた。

8月25日(日)午前10時頃、天気は晴れ(風あり)、気温は25度くらい。亀有5丁目の亀有公園・見性寺周辺。昆虫は、ナミアゲハ(1)、アブラゼミ、ミンミンゼミ、カネタタキを見つけた。植物は、エノコログサ、メヒシバを見つけた。

8月は猛暑となった。7月29日、関東地方で梅雨明け宣言があり、35度を超える日もあった。8月15日付の産経新聞に、「熱中症 搬送1万2751人・5~11日 20都道府県で23人死亡」と書かれていた。また、18日付の産経新聞では、「猛暑列島まだ続く 練馬、前橋など36.9度」という見出しがあり、今後一週間は33度前後の気温が続くので、熱中症対策を万全にしてほしいと書かれていた。しかし、23日は曇りで時折小雨が降って、28.5度となった。24日は晴れて暑くなったが、31.4度だった。

梅雨明け宣言が昨年比べて、1カ月も遅かったせいか、ミンミンゼミやアブラゼミの数が少ないように感じた。また、逆にニイニイゼミの鳴き声がよく聞こえたことも今夏の特徴であると言える。ツクツクボウシも例年どおり鳴き始め、コオロギの鳴き声も駅のホームからも聞こえてきた。秋はそこまできていることを期待したい。

私たちが、SDGsの実践を通じて、温暖化防止に向けて頑張っていきたいと思う。(8月25日)

氏名 K-N	町名 東金町	調査区 5
(水元公園正面入口～養魚場入口間の指定種の植物と昆虫)		
鳥類は大橋周囲～小合溜		
種類	6月～8月の3か月の数値(タンポポや野鳥は数値表示)	

種類	6月	7月	8月	種類	6月	7月	8月
西洋タンポポ	2	9	3	クロアゲハ	0	0	0
関東タンポポ	0	0	0	シジミ蝶	5	6	10
シロツメ	多	多	15	アゲハ蝶	1	1	0
カントウヨメナ	多	8	0	モンシロ蝶	0	2	2
つゆ草	0	5	10	アオサギ	1	1	1
ユリカモメ	0	0	0	中サギ	0	0	0
カモ類	0	0	0	コサギ	0	1	0

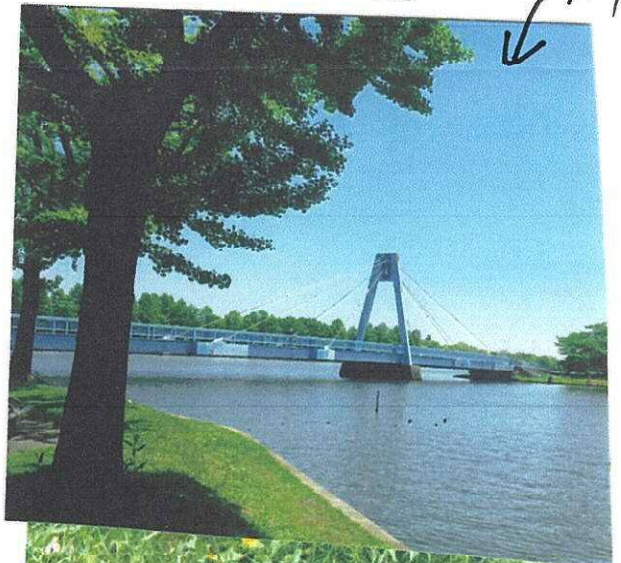
今年はずいぶん少ないです  
↓

### 1. 植物情報

西洋タンポポは例年より数が少ない。それはツククサなどの花咲にも共通。特に8月は小合溜周囲にシロツメやツククサが例年多数だが、カントウヨメナは花が枯れている。桜の木に写真のような枯葉があった。あじさいの花もあわれた。ここ3ヶ月の気象が影響しているのだろうか……。

### 2. 野鳥情報

観察地で気になるのは、コサギをみないことだ。カモ類は例年より早く去り、観察時間にもよるが、0が続いた。つばめはAとBの巣から9羽、Cの巣は5月下旬に4羽がカラスにやられた。だが、同じ巣で5羽かえた。今年の総数は14羽 昨年は10羽、その前年までは24羽だった。Cの巣は二度目に巣立ちができ感激した。



#### 西洋たんぽぽの雑談

私たちは生命力が強く、在来種とハーフになって一年中咲いている。水辺通信4月号に『一つの花に200個ほどの種子、関東は60～120個』の情報があつた。3月号には『アゲハチョウには1万8千個の複眼がある』とあつた。モンシロチョウは幾つ？

今年の夏は

弥生さくら草

記録的に暑かったこの夏も八月の終わりに近づくと、そこはかたなく秋の気配を感じます。空は青く高くなりました。いつかこの酷暑も終わり、そうして寒い冬が来るのです。それを毎年繰り返しているうちに私も傘寿を越えました。夏が終わると絶好の日々は速く過ぎてゆき、たちまち冬が近づく……そうして今年も逝くのです。

異常に梅雨が長引き、お盆が過ぎるまで明けなかった。その後は連日猛暑で、植物には受難だった。葉が薄い朝顔や茄子などは日に三度は水をあげた。萎れた葉を見ると息絶え絶えに感じられて昼間でも撒いた。ゼラニウムはどちらかという丈夫な部類に入り、挿し芽で増え、冬でも戸外で咲き手入れが簡単である。それが今年は異変が起きて葉が所どころ脱色している。遠方から見ると薄緑色の花が咲いているように見える。ヨーロッパではこの花は窓辺を彩っている。洗濯物を窓辺に干さないというドイツでは美観を損なうからと住む人々が協力しているそうだ。

夏の間咲き続ける花に百日紅がある。今年も七月を待って開花したが、それでも例年より花が少なく色が冴えない。葉はまだらになって醜い。気候が影響しているのだろう……。

夜間外に出てみた。夜空にスカイツリーが冴え冴えと輝いて見える。昼間には気が付かなかったが虫の音がささやくのが聴こえた。いつの間に姦しく鳴いていた蟬の音がしない。目に見えぬほどの歩みで秋が近づいている。

令和1年9月2日



氏名	高柳 みどり	町名	西新小岩	調査区	1-4
----	--------	----	------	-----	-----

タイトル: 夏のみちくさ タチアオイ



6月上旬、中川左岸緑道の  
タチアオイ 銀座です。

毎年、にぎやかに、色とりどり  
楽しませてくれます。

新聞にも紹介されていて、  
この花の道の世話をしている

S氏は、区のボランティアと  
して、活動されていて、頭か  
下かります。



氏名	高柳 みどり	町名	東四ッ木	調査区	2-8
----	--------	----	------	-----	-----

タイトル: 夏のみちくさ  
 チョウセンアサガオ



6/6 朝 8時すぎ  
 チョウセンアサガオ (朝鮮朝顔)  
 の花です。夜に咲いて翌午前中  
 には、しぼむとありました。  
 朝早くの散歩でないとい  
 見られません。



チョウセンアサガオの実です。  
 上記の花のある同じ場所で  
 実は昨年12月末にみつけま  
 した。トゲトゲで目立ちます。  
 麻薬成分のあるこの植物、  
 ここにあっていいのでしょうか...?

氏名	高柳みどり	町名	西新小岩	調査区	1-4
----	-------	----	------	-----	-----

タイトル: 夏のみらくさ シマトネリコ



7/8 西新小岩の住宅庭  
シマトネリコ(島榕)の  
白いもじゃもじゃの花が咲く  
季節です。最近、個人住宅の  
シンボルツリーとして、はやっていくと  
聞きました。  
亀有のアリオショッピングモールの  
正面駐輪場には真々と何本も  
植わっていて、一斉に咲いている  
のに、だれも見えてくれていません!



8月 実ができました  
亀有アリオの正面駐輪場で  
シマトネリコの実は翅果(しか)  
で、うすぺらい羽? 紙のようです。  
風にはのり飛散するつもりの様  
ですが、ここはコンクリートの街!

氏名：石鍋 壽一	町名：小菅	調査区：3
----------	-------	-------

平成31年6月25日

## 環境基本法とこの調査について

こういった調査・報告が行われる意義として、環境基本法というものがあり、それがどういったものかの概略などを確認してみる。

環境基本法の目的は、「この法律は、環境の保全について、基本理念を定め、並びに国、地方公共団体、事業者及び国民の責務を明らかにするとともに、環境の保全に関する施策の基本となる事項を定めることにより、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって現在及び将来の国民の健康で文化的な生活の確保に寄与するとともに人類の福祉に貢献することを目的とする」としている。

「環境基本法制が対象とすべきいわゆる環境の範囲については、今日の内外の環境問題の国民的認識を基礎とし、社会的ニーズに配慮しつつ、施策の対象として取り上げるものとするのが適当である。」と柔軟であり、ひとりひとりの環境への認識により変化する。

基本理念として、「環境の恵沢の享受と継承」が定められており、「環境の保全は、環境を健全で恵み豊かなものとして維持することが人間の健康で文化的な生活に欠くことのできないものであること及び生態系が微妙な均衡を保つことによって成り立っており人類の存続の基盤である限りある環境が、人間の活動による環境への負荷によって損なわれるおそれがしうじてきていることにかんがみ、現在及び将来の世代の人間が健全で恵み豊かな環境の恵沢を享受するとともに人類の存続の基盤である環境が将来にわたって維持されるように適切に行わなければならない」と、生態系についての言及がある。

次に、「環境への負荷が少ない持続的発展が可能な社会の構築等」、「国際的協調による地球環境保全の積極的推進」、「各主体の責務」として国、地方公共団体、事業者、国民の責務が定められており、「国民は、基本理念にのっとり、環境の保全上の支障を防止するため、その日常生活に伴う環境への負荷の低減に努めなければならない。」としている。

また、「環境の保全に関する基本的施策」で

- ① 人の健康が保護され、及び生活環境が保全され、並びに自然環境が適正に保全されるように大気、水、土壌その他の環境の自然的構成要素が良好な状態に保持されること
  - ② 生態系の多様性の確保、野生生物の種の保存その他の生物の多様性の確保が図られるとともに、森林、農地、水辺地等における多様な自然環境が地域の自然社会的条件に応じて体系的に保全されること
  - ③ 人と自然との豊かな触れ合いが保たれること
- とある。

### \*参考文献

「環境基本法」 制定 平成5年11月19日法律第91号

改正 平成30年6月13日法律第50号

氏名：石鍋 壽一	町名：小菅	調査区：3
----------	-------	-------

2019年7月28日

## 光化学スモッグ抑制、国民の義務らしい①

「かつしか環境・緑化フェア2019」に行きました。そこで東京都環境局が光化学スモッグ抑制のための冊子\*1を配っていました。

光化学スモッグは光化学オキシダントが高濃度になると発生し、その原因物質の一つに「VOC」（揮発性有機化合物。有機溶剤、ガソリンなどの揮発油、アルコールなどよくつかわれているものだけで200種類もあるといわれている\*1）があるそうです。

スプレー製品は圧縮ガスのもの、塗料・接着剤は低VOC、非トルエン・キシレン、ホルムアルデヒドの放散量に配慮したもの、「水性」と記載してあるものが良いとされていました（詳しくは冊子\*1を入手してください）。

驚いたのが、大気汚染防止法の第2章の2、第17条の15で、法律上VOCの削減が国民の義務になっていたところ。一人一人が日々の買い物でもVOC放散量の少ないものをえらばなくてはいけないらしいのです。国民にVOC削減の義務があるとは今まで知りませんでした。

200種類以上あるVOCがどの製品が使っているかを毎回確認するのは無理ですし、義務を果たすためには今回のような冊子\*1などを入手することが必要かもしれません。

また、参考資料\*2では、光化学オキシダントの構成物質のひとつにオゾンがあり、植物に悪影響があるらしく森林後退の原因になっているらしいです。植物などの生物を日々観察している我々にも意外と身近な問題かもしれないと思いました。

しかし普通に日々の生活をするのに必用な資料はどんどん増えていますね……。水害や地震などの災害対策の冊子やごみの捨て方の資料、どのように洗濯をすればよいかのラベルの見方の資料などたくさんあります。便利な生活をして行くには必要なものでしょうけれど……。コンピューターやスマートフォンがインターネットにつながっていて、いつでも簡単に調べられる環境にあっても管理しきれなくなってしまうそうです。それに今回のような義務が書いてある法律等を知る必要があるかどうかとも問題です。

自分でも難しく書いていてわからなくなりそうですが「光化学スモッグは光化学オキシダントが高いと起きる、その原因の1つはVOC」と、とりあえず単純化して読んでみてください。今回のこのレポートは参考程度にさせていただき、気になる方は冊子\*1を入手するか、あればインターネット等で時間がある時に調べてみてください。

### \*1 参考文献

「身近な低VOC製品の選び方ガイドブック ー光化学スモッグのないきれいな空を目指してー」

東京都 環境局 環境改善部 化学物質対策課 平成30年 3月 発行

### \*2 参考文献

「新・公害防止の技術と法規 2019 大気編」 一般社団法人 産業環境管理協会 2019年 2月 10日 発行



氏名：石鍋 壽一	町名：小菅	調査区：3
----------	-------	-------

2019年8月10日

## 光化学スモッグ抑制、国民の義務らしい②

光化学スモッグ抑制のための参考資料\*1を東京都が配っていた事と VOC について、揮発性有機化合物の排出、飛散の抑制が国民の義務であるということと前回の「光化学スモッグ抑制、国民の義務らしい①」で報告しました。

その時はふーんでした。しかし参考資料\*2で VOC 削減が国民の義務である事と現状が書いてありました。

過去に VOC の排出総量削減の目標が立てられ、事業者が目標を上回る大きな削減をし、9割の地点が光化学スモッグ注意報発令レベルを超えなくなる予定だったようですが、乖離があるそうです。化学的に連鎖反応するらしく、目標通りにいかなかったようです\*2。

また、しばらく光化学スモッグの注意報を聞いてなかったのが大丈夫と勝手に思い込んでいたのですが、法で定める環境基準値（光化学スモッグ注意報発令の基準の半分の基準値）ではほとんど現在もその基準が達成されていないらしいです。しかし、すぐに健康被害が発生するわけではないようですし、被害届も減っているようですが\*2。

自分自身は光化学スモッグで目が痛くなったり、息が苦しくなったりしたことがなく、今ひとつ実感にとぼしいですし、アルコールやガソリンまで VOC に含まれていると知ると達成が難しいという気になってしまいますが、環境基準値もそれなりに理由があって定められたのでしょうし、国民の義務になっているのでやらざる負えません。

また、前回は植物にも害があるらしい事を書きましたが、人間だけの問題で収まらないので、人間だけで決めて良い話ではないのかもしれない。

冗談ですが、アルコールも使えないということは国民の努力としてお酒を飲む回数も減らせということかもしれません。

わかりにくい面倒くさい話だなと思うのですが、法律で国民も削減が義務化されるくらいなのに知らなかったので書きました。

### \*1 参考文献

「身近な低 VOC 製品の選び方ガイドブック -光化学スモッグのないきれいな空を目指して-

東京都 環境局 環境改善部 化学物質対策課 平成30年 3月 発行

### \*2 参考文献

「新・公害防止の技術と法規 2019 大気編」 一般社団法人 産業環境管理協会 2019年 2月 10日 発行

# 季節の写真集 (6月～8月)



「ネジバナ」

7/3 場所：青戸3丁目  
名前：森本 龍司さん



「スイカズラ」

6/1 場所：区北東部  
名前：石鍋 壽一さん



「ヤブカンゾウ」

7/13 場所：区北東部  
名前：石鍋 壽一さん



「センニンソウ」

8/3 場所：区北東部  
名前：石鍋 壽一さん



「アズマヒキガエル」  
6/27 場所：清和小  
名前：RYUさん



「バラ」  
7/24 場所：奥戸フラワーパーク  
名前：RYUさん



「助けたトマト」  
8/20 場所：お花茶屋  
名前：RYUさん



「サボテンマン開花」  
6/19 場所：お花茶屋  
名前：Rさん



「オオスカシバ」

8/19 場所：お花茶屋

名前：Rさん



「拾ったトマト」

7/31 場所：お花茶屋

名前：Rさん

## 葛飾柴又新八水路 魚からの便り-263

調査次数 調査日 地点	265			備 考	
	2019/6/22				
	本流	新八水路	新八ワンド		
1	ア シ シ ロ ハ ゼ	7 48-67			
2	ウ キ ゴ リ		5 37-47		
3	オ イ カ ワ	1 87			
4	ギ ン ブ ナ	1 49	26 15-56	1 32	
5	コ イ		45 19-54		
6	ス ズ キ	5 65-103			
7	ド ジ ヨ ウ		4 30-38		
8	ニ ゴ イ	5 36-55			
9	ヌ マ チ チ ブ	28 40-102			
10	ハ ス	1 137			
11	ボ ラ	30 45-241			
12	マ ハ ゼ	38 44-137			
13	マ ル タ	3 52-60			
14	メ ダ カ		1 20		
15	モ ツ ゴ		1 28	1 20	
	計	10種類119個体	4種類82個体	2種類2個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて15種類203個体の魚類が採集されました。
- ・ 曇り後雨、気温23.0℃、水温 本流23.0℃、新八水路24.1℃、新八ワンド21.7℃（15時頃測定）

## 【参加者コメント】

- ・ 怪我人や病院行きが複数いた不思議な日だった。  
水族館に勤める女性が初めて参加、投網を練習して見事に本流で魚を捕まえていた。感染して常連になってほしい。新八の高齢化に歯止めを！  
婚姻色がやや褪（さ）めつつあるアシシロハゼの雌雄が採れた。雌雄で模様の違いがはっきりしている。平和島で採れたヒメハゼは腹鰭（ハラビレ）が円形（アシシロは楕円）で、背鰭の直ぐ前に小さな黒点があることで識別されることを教わったばかり。かなり沢山採れたマハゼの大きさには2つのグループができていた。大型の個体は川で越冬していたのかもしれない。（YK）
- ・ 悪天候で風もあったが、水位が低かった（朝から水位が下がり続けた）ので、投網は打ちやすかった。先月新八水路で採取できなかったメダカが1個体のみであったが採取できたのが嬉しい。常連さんの参加がいつもより少なかった分を初参加の方がカバーしてくれた。（SI）

【今後の調査日】7月6日（土）8月10日（土）9月29日（日）

HP（ <http://shigenori1.jimdo.com/> ） 新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-264

調査回数 調査日 地点			266			備 考	
			2019/7/6				
			本流	新八水路	新八ワンド		
1	ウ	グ	イ	1 131			
2	オ	イ	カ	ワ	11 52-120		
3	ギ	ン	ブ	ナ	5 35-65	6 32-58	
4	コ		イ		1 80	2 30-52	
5	コ	ク	チ	バ	ス		特定外来生物
6	ゴ	ク	ラ	ク	ハ	ゼ	
7	ス	ゴ	モ	ロ	コ		
8	ス	ズ	キ				
9	ニ	ゴ	イ				
10	ヌ	マ	チ	チ	ブ		
11	ヒ	ガ	イ				
12	ブル	ー	ギ	ル			特定外来生物
13	ボ		ラ				
14	マ	ハ	ゼ				
15	メ	ダ	カ			1 22	35 12-34
計				14種類253個体	3種類9個体	1種類35個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて15種類297個体の魚類が採集されました。
- ・ 曇り、気温23.5℃、水温 本流22.4℃、新八水路23.4℃、新八ワンド23.7℃（15時頃測【参加者コメント】）
- ・ 東京では数日来雨が降り、特に北関東は雨量が多かった模様で、行徳の水閘門が開かれていて流れは早かったが水深は低くなかった（午前中）。側線上周辺に鮮やかな青緑色の鱗が光るゴクラクハゼが19尾採れた。今まではたまに1尾ずつしか採れなかったが、今回は数尾ずつ網に入っていたので群れで游泳していたのかもしれない。（YK）
- ・ 増水の影響か、オオフサモと思われる水草が流れ着いていました。定着しないよう、しばらくは注意していきたいと思います。（KI）
- ・ 午前中は高かったが、午後は一気に水が引き、魚が減るかな？と思われたが、珍しいゴクラクハゼやスゴモロコも多く見られ、楽しく投網を投げていた。測定作業では、オイカワのオスの赤色やヒガイの縦ラインの模様が綺麗で、観察するのも楽しかった。ゴクラクハゼとマハゼや、ギンブナとコイの見分けは難しかったが、特徴をつかむことが出来て嬉しかった。（AN）
- ・ 雨を予想して朝から雨対策をしたが、調査中は雨は降らず、嬉しい誤算だった。最近採れてなかった魚が採れたが、これは二日前の大雨のせいだろう。（SI）

【今後の調査日】8月10日（土）9月29日（日）

HP（ <http://shigenori1.jimdo.com/> ） 新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-265

調査回数 調査日 地点	267			備 考
	2019/8/10			
	本流	新八水路	新八ワンド	
1	ウ キ ゴ リ		2 50-53	
2	オ イ カ ワ	2 103-108		
3	オ オ ク チ バ ス	3 66-285		特定外来生物
4	ギ ン ブ ナ		1 42	
5	コ イ		2 17-22	3 13-21
6	ス ズ キ	3 59-288		
7	タイリクバラタナゴ	1 21		
8	ニ ゴ イ	1 189		
9	ヌ マ チ チ ブ	2 37-47		
10	ヒ ガ イ	1 56		
11	ボ ラ	16 70-115		
12	マ ハ ゼ	11 71-90		
13	メ ダ カ		17 14-24	33 16-29
14	ワ タ カ		1 15	
計		9種類40個体	5種類23個体	2種類36個体

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて14種類99個体の魚類が採集されました。
- ・ 晴れ、気温33.4℃、水温 本流32.5℃、新八水路28.6℃、新八ワンド32.5℃（15時頃測定）  
【参加者コメント】
- ・ 気温が高く、過去最も高かったと思える程の水位で、流れがないため水は茶濁し、最悪のコンディションだった。水中に垂れる草にセミの脱け殻多数が着いていたのが異様だった。  
全長15mmのワタカ未成魚1個体が採れた。ハクレンの未成魚にもやや似るが、吻端が上に尖った独特の顔が特徴的。私も文献で見てただけで、未成魚の実物は初めて。成魚は本流で稀に採れるが、琵琶湖からの国内移殖種。(YK)
- ・ 水温も気温も高く、魚も深みに入ってしまったのか、土用隠れという言葉思い出す採れ具合でした (KI)
- ・ ガールスカウトや親子の参加もあり、大勢での調査だった。水位がもう少し低ければもっと楽しい調査になったと思う。SI)

【今後の調査日】 9月29日（日） 10月14日（月・祝） 11月23日（土・祝） 12月14日（土）

2020年 1月25日（土） 2月23日（日） 3月28日（土）

HP ( <http://shigenori1.jimdo.com/> ) 新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】





## 夏の自然観察会を行いました♪

令和元年7月13日(土曜日)に自然環境レポーターの研修会を行いました。研修会前半は自然観察会として、水辺のいきもの館裏の蓮池～林～草原～桜土手を歩きながら、トンボやチョウなどゆっくりと観察しました。

研修会前にアオスジアゲハが産卵をしていたので、卵の観察をしたり、ウチワヤンマやコシアキトンボの抜け殻、トンボの体重、羽の点についてなど、図鑑に載っていない豆知識を盛り込みながらの楽しい観察会となりました。後半は、講習室でまとめや講師がお手製の標本等を見せながら、詳しく昆虫について話を聞きました。

次回は、12月上旬に行う予定です。レポーター同士の交流やレベルアップのためにも、皆さまのご参加をお待ちしております。



観察会スタート。  
まずはどのように回っていくか説明。



アオスジアゲハの卵。クスノキの若くて  
柔らかい葉に産卵するそうです。



これは、ウチワヤンマの抜け殻。シオカラトンボの体重はどれくらいか？トンボの羽にある点は何の役割をしているか？図鑑に載っていない豆知識も・・・



研修会が始まる前に採取したクロアゲハ。虫の生活を通してその環境を知ることが出来ます。(クロアゲハは終了後、自然に戻しました。)



## グッドかわせみ賞受賞者 16名をご紹介します！

グッドかわせみ賞は、年に7回以上レポーター活動に励んだ方に授与されます。受賞された皆さんには、賞状と記念品を委嘱式時にお渡しします。委嘱式を欠席された方には郵送いたしました。

※活動とは、毎月のレポートや研修会、環境・緑化フェアの参加などのことを指します。毎月のレポートは、レポートの種類及び枚数によらず1か月分の提出を1回とカウントします。例えば、9月に55種の自然環境調査と自由レポートを提出いただいた場合でも2回とはせず1回とみなします。

荒井敏夫さん、石鍋壽一さん、江良ヒデ子さん、T. Kさん、  
K. Nさん、佐々木定治さん、弥生さくら草さん、  
高橋雅子さん、高柳みどりさん、田村ひろ子さん、RYUさん、  
Rさん、ゆきひめさん、藤並剛さん、森本龍司さん、鷺田秀和さん

## 令和元年度自然環境レポーターの 委嘱式を行いました

令和元年度自然環境レポーターの委嘱式を9月3日に行い、9月1日から1年間の任期で活動していただくことになりました。引き続き活動される方、今回から新たに活動される方、1年間よろしくお願いいたします。

そして、グッドかわせみ賞の受賞を目指しましょう♪

## ☆新八水路で魚類調査を行います☆

- 日時 10月14日(月・祝)、11月23日(日)、12月14日(日)  
午前10時～午後4時ごろ
- 場所 江戸川河川敷 寅さん記念館下まで直接お越しください。
- 持ち物 着替え、昼食、飲み物、首に巻くタオル、短くないソックス
- 詳しくは、HP (<http://shigenoril.jimdo.com/>)

## ☆綾瀬川や古隅田川で行う魚類などの調査を見学しませんか☆

採取した生物を展示して、調査結果の概要を説明します。直接会場へお越しください。

- ◆日時 10月15日(火) 9時00分～  
調査結果の説明 11時～(30分程度)  
※雨天時は10月28日(月)
- 場所 綾瀬川(東四つ木避難橋付近)



- ◆日時 11月12日(火) 9時00分～  
調査結果の説明 11時～(30分程度)  
※雨天時は11月15日(金)
- 場所 古隅田川(区立白鷺公園付近)

「水辺のふるさとかつしか」第310号  
(葛飾区 自然環境レポーター通信第262号)  
令和元年10月4日 発行  
葛飾区環境部環境課自然環境係  
〒124-8555 葛飾区立石5-13-1  
TEL(3695)1111 内線3522~3  
直通電話 (5654)8237  
fax (5698)1538



「水辺のふるさとかつしか」の内容について、お間違い等お気づきの点がありましたらお知らせください。